

厚木市に放射能汚染はあるの？

議員団 線量計を入手

今週の活動から



本厚木駅前での「原発ゼロへ」署名宣伝行動（6月5日、左：釘丸久子議員、右：栗山香代子議員）

軽いので、ポケットにひっかけてたり、首にかけられます。
6月6日（月）定例の本厚木駅宣伝では、栗山議員が首にかけて数値を紹介。ところが、首にかけていると、数値は全く一定しなくて・・・。ちょっと動いたり、風が吹いても変わります。測りにくいけれどおおよそのところはわかります。市民の関心は高く、線量計を見たいきます。
貸し出しはしませんが、お声をかけていただければ、計測器を持って伺います。

測定日	測定場所	測定結果 (地表50cm)	測定結果 (地表100cm)
6月4日	七沢自然ふれあいセンター	0.10	0.11
6月4日	七沢児童館	0.06	0.08
6月3日	荻野公民館上荻野分館	0.14	0.13
6月3日	上荻野小学校	0.10	0.13
6月3日	荻野小学校	0.10	0.13
6月3日	小鮎保育所	0.05	0.06
6月3日	森の里小学校	0.11	0.11
6月3日	玉川中学校	0.13	0.12
6月3日	鳶尾小学校	0.14	0.13
6月3日	睦合中学校	0.12	0.10
6月3日	緑ヶ丘小学校	0.09	0.12
6月4日	毛利台小学校	0.08	0.09
6月4日	愛甲小学校	0.14	0.12
6月3日	上依知小学校	0.12	0.07
6月3日	北小学校	0.10	0.12
6月3日	依知小学校	0.09	0.08
6月3日	睦合東中学校	0.10	0.10
6月3日	もみじ保育所	0.12	0.10
6月4日	厚木第二小学校	0.09	0.11
6月4日	相川小学校	0.12	0.13
6月4日	戸田小学校	0.09	0.11
6月4日	依知南小学校	0.12	0.09

3月11日の福島第一原子力発電所の事故。あれから3カ月が経とうというのに、まだまだ、危険な状態が続いています。
市内では23か所で計測
市民の皆さんからも、厚木はどうなのかと聞かれることがありま
す。
厚木市内では、県が下津古久にある総合防災センターで、ガンマ線を測る計測器で、地上1メートル、平日の9時・13時の2回、放射線量を測っています。
また、厚木市では独自に、市内22か所で計測。なんと22か所かという、93・83平方キロメートルの厚木市で、2kmメッシュで、ほぼ全域を網羅することになります。6月議会一般質問で、釘丸議員が「県の調査では広すぎる。市として調査をするよう」求めました。市では、環境みどり部生活環境課の職員が、6月3・4日の2日間かけて測りました。今後は2週間に1回程度測る予定です。
市で測ったのは各所地上50cmと1mの地点を、消防署が持っている災害活動用の簡易測定器、ガイガーミュラーカウンタで測りました。5回測って、最高・最低を外し平均値を出します。場所によってだいぶ数値は異なっています。
公表されている数値で最も低いのは0・05、最高が0・14マイクロシーベルト/時。
厚木市内の測定値は、市のホームページで公表しています。（左表）
ちなみに、県の総合防災センターでは、およそ0・05マイクロシーベルト/時。

これらは、国の基準を
課の職員が、6月3・4日の2日間かけて測りました。今後は2週間に1回程度測る予定です。
市で測ったのは各所地上50cmと1mの地点を、消防署が持っている災害活動用の簡易測定器、ガイガーミュラーカウンタで測りました。5回測って、最高・最低を外し平均値を出します。場所によってだいぶ数値は異なっています。
公表されている数値で最も低いのは0・05、最高が0・14マイクロシーベルト/時。
厚木市内の測定値は、市のホームページで公表しています。（左表）
ちなみに、県の総合防災センターでは、およそ0・05マイクロシーベルト/時。



超えるものではありません。
議員団のは「PRM1200」
市民の方から、うちはどうなのかしらーとの声もありまして、「議員団持ってないの？」といわれ、それならば、と思い切って購入。
放射線線量計にもいろいろあります。議員団のは、アメリカ、レイシステムズの「PRM1200」という機種。シンチレシオンで、エックス線とガンマ線を計測するもの。小さく、